

平成 20 年度組織目標の点検結果

1 平成 20 年度組織目標の設定（部局及び課等）

平成 19 年 11 月に各部局長が市長と面談し、部局の組織目標を設定した。

課等の長は、部局の組織目標を踏まえて課等の組織目標を設定し、関連する事務事業の目標を設定した上で、予算要求を行った。

平成 20 年 4 月に、組織目標の進捗管理の開始に当たり、部局及び課等において再度目標の精査を行った。

2 点検の実施（行革推進課）

点検は主に次のような視点で実施した。

- ①20 年度中に目指す状態が読み取れなければ「不明確」とする。
- ②「喜びを分かち合う」など表層的な設定に止まり、その先に真に期待する成果があると思われる場合は、「不明確」とする。
- ③「効率的な状態」「効果的な状態」「改善された状態」「進捗した状態」など、その状態がどのような状態なのかが具体的にイメージできない記述であれば「不明確」とする。
- ④「前年度より少ない（多い）」など、目指す状態として定量化が可能であるにもかかわらず、単に前年度からの変化のみを目指している程度であれば「不明確」とする。
- ⑤総合計画の政策分野を踏まえた部局の「政策目標」については、当該政策分野との関連がなければ「不明確」とする。
- ⑥部局の組織目標を踏まえた課等の「政策目標」については、当該部局の組織目標との関連がなければ「不明確」とする。
- ⑦部局の組織目標や部局長からの指示事項の中で目指す成果が記述されている場合は、課の組織目標は、そのための達成手段が目標となっても可とする。
- ⑧20 年度中に具体的な成果が上がらないような事案であれば、活動目標も可とする。

3 組織目標の点検結果

上記の視点により目標を点検した結果、次の表のとおりとなった。

「すべてが明確」及び「半数以上が明確」の割合が増加し、「半数未満が明確」が 15 ポイント減少していること及び明確な目標数が増加していることから、目標設定のスキルは向上しているものの、全体を見れば、まだまだ不十分と言える。

○明確・不明確な組織数

組織	平成20年度				平成19年度			
	すべてが 明確	半数以上 が明確	半数未満 が明確	全てが 不明確	すべてが 明確	半数以上 が明確	半数未満 が明確	全てが 不明確
部局	2	7	6	0	3	6	6	0
課等	24	47	11	0	17	42	27	0
計	26	54	17	0	20	48	33	0
割合	26.8%	55.7%	17.5%	0.0%	19.8%	47.5%	32.7%	0.0%

○明確・不明確な目標数

組織	平成20年度			平成19年度		
	明確	不明確	合計	明確	不明確	合計
部局	64	58	122	63	37	100
課等	326	124	450	349	221	570
計	390	182	572	412	258	670
割合	68.2%	31.8%	100.0%	61.5%	38.5%	100.0%

4 今後の取組

- ・組織目標の点検結果を設定者に通知し、精査をしてもらう。
- ・平成 21 年度予算要求時には、組織目標の設定をさらに向上できるよう通知等を行う。